

鋼製D型スリット

平成3年9月の台風19号により、北部九州地方に発生した風倒木災害の対策事業として設置された鋼製D型スリットにより、その後の出水に伴い流出した流木を捕捉した。



鋼製部高3m[大分県]



高瀬川 鋼製部高3m 平成5年度[大分県]

鋼製D型スリット



中原川 鋼製部高3m 平成5年度[熊本県]

4. 鋼製砂防構造物の効果事例



出水時に流出した流木は水に浮くため、コンクリート不透過型の本堤を越流(本堤水通し上にも流木が確認できる)したが、副堤に設置された鋼製D型スリットにより捕捉された。



鷹ノ巣川 鋼製部高3m 平成6年度 [広島県]